

【全盲の男性、ルービックキューブ日本大会に出場】

埼玉県上尾市在住の無職、斉藤伸一さんが10日に行われたルービックキューブ日本大会に出場し、2分1秒30という好記録を残した。斉藤さんは全盲のため点字のついたルービックキューブを使用し、手触りで色の情報を得る。全盲者がルービックキューブの公式大会に参加することは世界的にも稀(※1)であり、斉藤さんが六面を揃えると多くの観衆が拍手喝采した。

斉藤さんは「今日は目標としていた3分を切ることができて嬉しいです。また多くの競技者と話ができてとても充実していました。ルービックキューブは全盲の人でも楽しめるパズルです。この楽しさを他の全盲の人々に広めて行きたい。今後は目隠し部門や正十二面体パズル部門にも挑戦したい」と語った。

審判を務めた男性は「斉藤さんはまるで目が見えているかのようにてきぱきとキューブを揃えていて驚きました」とコメントした。

(※1)当初は「世界初」と書きましたが、その後WCA(世界キューブ協会)に確認した方から指摘があり、世界初ではありませんでした。お詫びして訂正します。